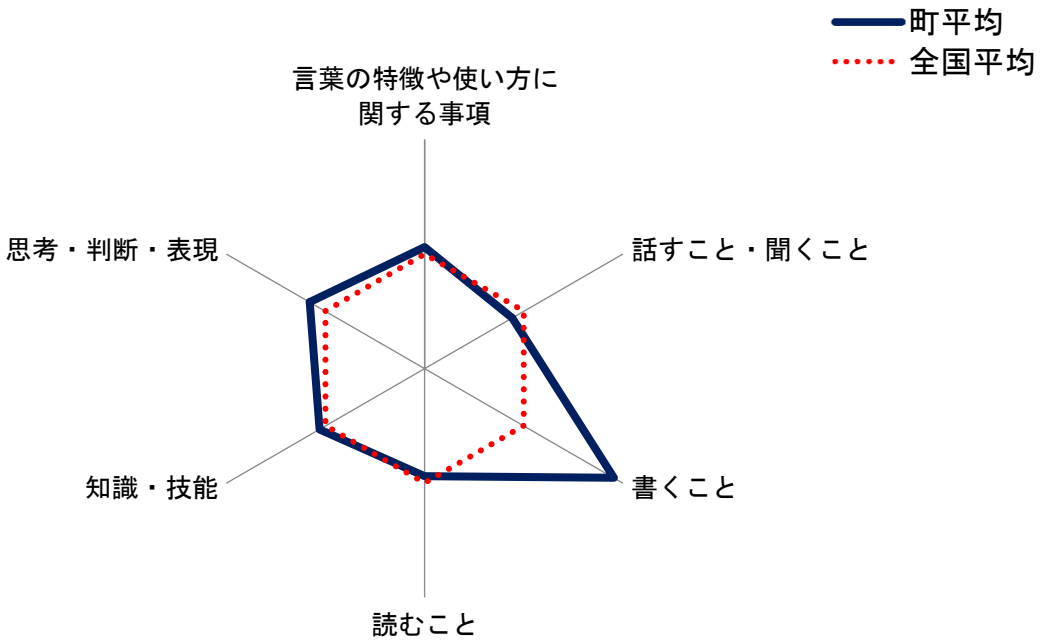
小学校

令和３年度　全国学力・学習状況調査
（各教科観点別等の状況）結果

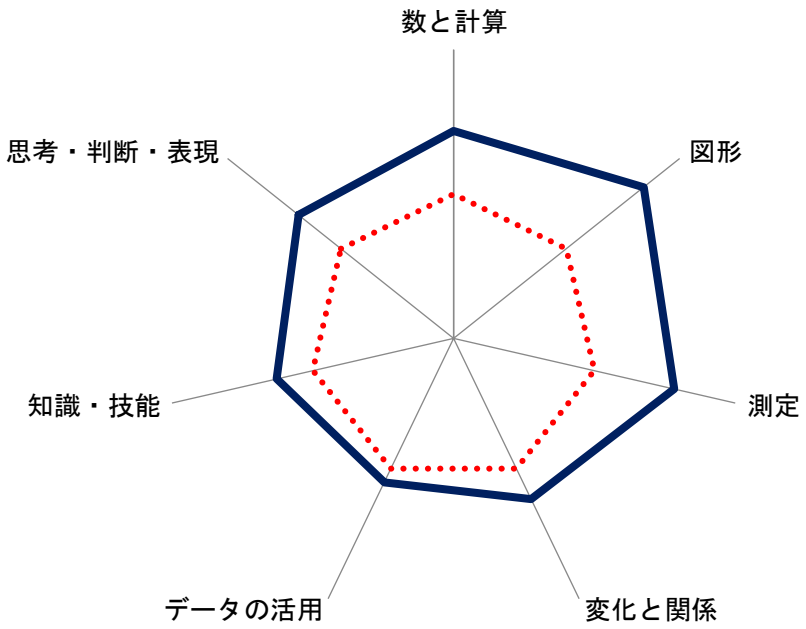
愛南町

○　教科に関する調査（全国の平均正答率との差）

【国語】



【算数】

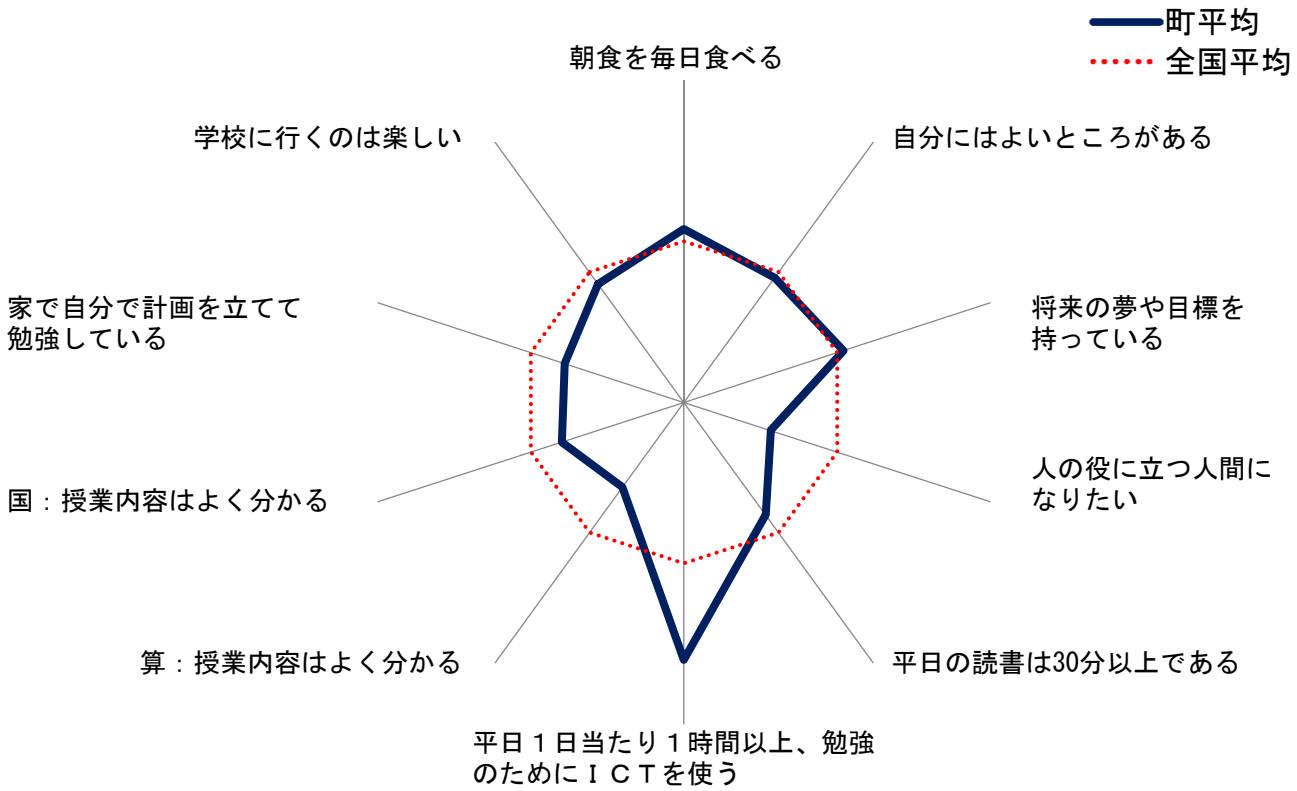


小学校

令和３年度　全国学力・学習状況調査
（学習や生活の状況）結果

愛南町

○　児童質問紙調査（全国の平均回答率との差：肯定的な回答）



○　結果の分析と改善策

教科に関する調査では、算数は全ての項目が全国平均を上回っている。特に「図形」「測定」などの項目は大きく上回っており、極めて良好な結果である。国語は「書くこと」の項目で全国平均を大きく上回っているが、「話すこと・聞くこと」「読むこと」の項目は下回っており、学習内容の定着に課題が見られる。今後、更なる学力向上に向けて、児童一人一人に対するきめ細かな指導を行い、知識及び技能の確実な定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、「平日１日当たり１時間以上、勉強のためにＩＣＴを使う」の項目が全国平均を大きく上回っており、ＩＣＴを積極的に活用した授業改善に取り組んでいる成果がうかがえる。一方、「人の役に立つ人間になりたい」「算数の授業内容はよく分かる」の項目は大きく下回っている。今後は、児童にとっての「楽しい授業、分かる授業」となるよう、町全体での更なる授業改善を推進するとともに、自己有用感を高める教育活動に、学校、家庭、地域が連携して取り組むことが望まれる。